

4A 呼吸器疾患

1993J109

気管支喘息について誤っているのはどれか。

1. 発作性呼吸困難を特徴とする。
2. 気道感染は喘息発作を誘発する。
3. 喘息重積発作で致命的となる。
4. 喘息発作時には気管支が拡張する。

4A 呼吸器疾患

1995J112

気管支喘息について正しいのはどれか。

- a. 吸気時に呼吸困難がみられる。
 - b. 天候変化が発作の誘因となる。
 - c. 喀痰に好酸球が認められる。
 - d. 気管支拡張薬は無効である。
1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

4A 呼吸器疾患

1998J109

誤っている組合せはどれか。

1. 樽状胸 - - 肺気腫
2. 鳩胸 - - 骨粗鬆症
3. 漏斗胸 - - マルフアン症候群
4. 翼状頸 - - ターナー症候群

4A 呼吸器疾患

1999J108

気管支喘息について誤っているのはどれか。

1. 外因型はアレルギーによって発症する。
2. 大気汚染が誘因となる。
3. 呼気性呼吸困難を伴う。
4. 喀痰に好中球が増加する。

4A 呼吸器疾患

2002J06

肺気腫でみられる胸郭の変化はどれか。

1. 漏斗胸
2. 扁平胸
3. 樽状胸
4. 鳩胸

4A 呼吸器疾患

2003J13

気管支喘息でみられないのはどれか。

1. 起坐呼吸
2. 呼吸音減弱
3. 将状胸郭
4. 吸気延長

4A 呼吸器疾患

2005PM13

誤っている組合せはどれか。

1. 自然気胸 肺嚢胞症
2. 肺気腫 アンチトロンピン 欠損症
3. 粟粒結核 後天性免疫不全症候群
4. 気管支喘息 アスピリン過敏症

4A 呼吸器疾患

2005PM21

間質性肺炎を合併しやすい疾患はどれか。2つ選べ。

1. リウマチ熱
2. 皮膚筋炎
3. 強皮症
4. ベーチェット(Behcet)病

4A 呼吸器疾患

2006PM34

肺のプラが破裂して発症するのはどれか。

1. 気管支喘息
2. 自然気胸
3. 肺癆
4. 肺線維症

4A 呼吸器疾患

1994J103

気管支喘息について誤っているのはどれか。

1. 喘鳴を伴う呼吸困難がみられる。
2. アレルギーが発症に関係する。
3. 喀痰に好中球が多い。
4. 気管支拡張薬の吸入が有効である。

4A 呼吸器疾患

1997J113

肺気腫について誤っているのはどれか。

1. 加齢とともに増加する。
2. 喫煙歴が病因として重要である。
3. ビール樽状胸郭がみられる。
4. 夜間発作性呼吸困難がみられる。

4A 呼吸器疾患

1999J107

肺気腫について正しいのはどれか。

- a. 女性に多い。
 - b. 喫煙は病因となる。
 - c. 労作性呼吸困難がみられる。
 - d. 呼吸不全にはならない。
1. a, b 2. a, d 3. b, c 4. c, d

4A 呼吸器疾患

2000J109

気管支喘息で誤っているのはどれか。

1. 気道内感染で誘発される。
2. 喘鳴を伴う呼吸困難がみられる。
3. 吸気時に呼吸困難がみられる。
4. 喀痰に好酸球を認める。

4A 呼吸器疾患

2003J12

真菌によるのはどれか。

1. 肺結核
2. 肺アスペルギルス症
3. マイコプラズマ肺炎
4. レジオネラ肺炎

4A 呼吸器疾患

2004J07

過換気症候群でみられないのはどれか。

1. テタニ 症状
2. 不安・恐怖感
3. 四肢のしびれ感
4. ミオタロ ヌス

4A 呼吸器疾患

2005PM14

肺癌について正しいのはどれか。

1. 喫煙は大細胞癌の発癌因子である。
2. 上大静脈症候群では縮腫や眼瞼裂縮小がみられる。
3. 扁平上皮癌は主に気道の中枢側に発症する。
4. 小細胞癌の頻度が最も多い。

4A 呼吸器疾患

2006PM33

気管支喘息について誤っているのはどれか。

1. 経過の長い患者では発作時に樽状胸がみられる。
2. 重積発作では呼吸音は減弱する。
3. 肺機能検査における1秒率の低下は不可逆的である。
4. 閉塞性換気障害である。

4A 呼吸器疾患

2007PM33

気管支喘息で正しいのはどれか。

1. 重積発作では坐位の姿勢をとる。
2. 発作時は吸気が延長する。
3. 気道閉塞は不可逆性である。
4. 発作の好発時期は冬である。